

みかづきいけ 三日月池

きゅうくりのこうぎょうこうこうよこ うわばしょうがっこうほうめん む い てんめつ しんごう
旧 栗野工業高校横を上場小学校方面へ向かって行くと、点滅の信号があります。

みかづきがた いけ みかづきいけ はなしょうぶ じせい しぜん
そこに三日月型の池があります。三日月池には花菖蒲（ノハナショウブ）が自生（自然
は しょうわ はなしょうぶ じせいなんげんち みなみ
に生えていること）しています。昭和13年（1938）花菖蒲の自生南限地（ここから南
はなしょうぶ しぜん は くに ぶんかざいてんねんきねんぶつ してい
には花菖蒲は自然に生えないこと）であることがわかり、国の文化財天然記念物に指定
じせいなんげんち はなしょうぶ しょくぶつがくじょう しょくぶつけいたいがくじょう えんげいがくじょう
されました。また自生南限地の花菖蒲は、植物学上・植物形態学上・園芸学上
たいへんきちょう
大変貴重なものです。

はなしょうぶ たいりくとうほくぶ にほん
花菖蒲はアジア大陸東北部と日本
じせい たねんせい くさき ぐんせい
にだけに自生する多年生の草木で群生
がつしじゅん ちゅうじゅん
します。6月初旬から中 旬にかけて
たか こ むらさきいろ うつく
高さ60-80cmの濃い紫 色の美しい
ばな さ げんざい いけ しゅうい
花を咲かせます。現在、池の周囲は



ふゆ みず はな さ がつころ いけ みず あふ ふ しぎ
4-500m で、冬に水はありませんが、花の咲く6月頃になると池に水が溢れる不思議な
いけ
池です。

えどじだい かえいがんねん きろく かいきんざつき しゅうい ちょう
江戸時代の嘉永元年（1848）に記録された廻勤雑記には、周囲16町（1744m）と
とうじ くら しゅうい なが やくさんぶん いち めんせき やくじゅうぶん いち
ありますから、当時と比べると、周囲の長さは約三分の一、面積は約十分の一にな
かんきょうはかい しぜんはかい すず けっか げんざい いけ すがた い え
っています。環境破壊・自然破壊が進んだ結果が、現在の池の姿 だと言い得ましょ
うか。

みかづきいけ ぶんがくさくひん ぶたい じどうぶんがくしゃ むくほとじゅう
また、三日月池は文学作品の舞台にもなっています。児童文学者でもあった椋鳩十
ながたにざいじゅう りょうし きりはらまさはる おう しゅりょう いろいろ ばなし き
は長谷在住の猟師「桐原政春」翁から狩猟にまつわる色々な話を聞いて、それを
みかづきいけ ぶたい だいぞうじい くりのたけ いのしし しゅじんこう
ヒントに三日月池を舞台にして「大造爺さんとがん」また、栗野岳の 猪 を主人公に
くりのたけ ぬし か つた むくほとじゅう かんどう じんせい こころ
した「栗野岳の主」が書かれたと伝えられています。椋鳩十の「感動は人生の心の
まど ことば きざ ぶんがくひ こんりゅう はる さくら しょか
窓をひらく」という言葉を刻んだ、文学碑も建 立されております。春は桜、初夏は
はなしょうぶ め ちゅうしゅう めいげつ ころ すずき ほ まね いけ ほとり
花菖蒲を愛でることができ、中 秋の名月の頃には薄の穂が招いています。池の畔
あずまや ゆうだい きりしまれんぼう いちぼう
の四阿からは雄大な霧島連峰も一望できます。